

CASIO®**5457*JA****取扱説明書****5457**

このたびは、本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

この時計の特長

この時計は、次の機能を備えています。

◆ワールドタイムがわかります

世界27都市の時刻を表示できます。

→ P.20

◆タイマーとして使えます

設定時間をカウントダウン計測し、残り時間が0になるとタイムアップ音を鳴らしてお知らせします。

→ P.21

◆ストップウォッチとして使えます

1/100秒単位で60分まで計測できます。

→ P.24

◆アラームを設定できます

設定した時刻になると、アラーム音を鳴らしてお知らせします。

→ P.25

安全上のご注意

絵表示について 本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 **危険** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています(左の例は感電注意)。



⊘記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています(左の例は分解禁止)。



●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)。

警告

スキューバダイビングには使用しないでください

本機をスキューバダイビングに使用しないでください。

- 本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

 **注意****お手入れについて**

ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとしび易くなります。

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

- ① 金属・皮革に対するアレルギー
 - ② 時計の本体およびバンドの汚れ・さび・汗等
 - ③ 体調不良等
- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
 - 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
 - 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

注意

分解しないでください

本機を分解しないでください。けがをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やけがの予防のため、十分に安全が確認された場所で行ってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、バンドの中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬけがやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

**ご使用にあたって**

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のけがやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

時計本体（裏ぶたを含む）やバンドに製品保護シールが付いている場合は、ご使用になる前に必ずはがしてください。シールをはがさずにご使用になると、「時計本体やバンド」と「シール」との隙間に汚れが付着し、さびやかぶれの原因となることがあります。

目次

この時計の特長	表紙裏面	12/24 時間制、時刻、日付の調整	18
安全上のご注意	1	ワールドタイム	20
本書について	8	他のタイムゾーンの時刻を見る	20
本文中の記号について	8	サマータイム (DST) の設定	20
各部の名称について	8	タイマー	21
液晶表示について	9	設定の詳細	21
ご使用になる前に	10	タイマーモードを選ぶ	21
時刻と日付の設定	10	計測時間を設定する	22
モードの種類と切り替え	12	計測する	23
各モードでできること	12	タイムアップ音を止める	23
モードの切り替え	13	ストップウォッチ	24
共通機能	14	ストップウォッチモードを選ぶ	24
時刻と日付	15	計測する	24
時刻を合わせる	15	アラーム・時報	25
ホーム都市、サマータイム (DST) の設定	16	アラームモードを選ぶ	25
		アラーム時刻を設定する	25

アラーム・時報の ON/OFF.....	26	お手入れについて.....	39
アラーム音を止める.....	27	電池交換について.....	40
アラーム音を確認する（モニターアラーム）.....	27	金属バンドの駒詰めについて.....	40
アナログ針の調整.....	28	UTC（協定世界時）とタイムゾーン.....	41
ライト.....	29	都市コード一覧表.....	42
ボタンを押して点灯させる.....	29		
ライト点灯時間の切り替え.....	29		
故障かな？と思ったときは.....	30		
時刻設定.....	30		
ワールドタイムモード.....	30		
主な機能表示.....	31		
製品仕様.....	32		
ご使用上の注意.....	35		

本書について

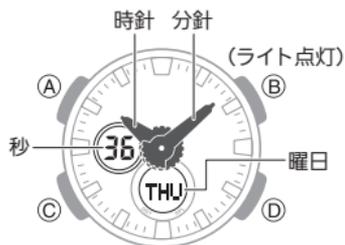
本文中の記号について

-  **注意**：誤った使用方法によるケガや故障を防ぐための情報を記載しています。
-  **重要**：正しく使用するために必要な情報を記載しています。
-  **参考**：各機能や操作の説明に関する補足情報を記載しています。
-  **：** 詳細の説明や関連する項目などの参照ページを案内しています。

各部の名称について

この時計の操作は、(A)～(D) ボタンを使用します。各部の名称は以下の通りです。

 モードの種類と切り替え…P.12



参考

- この取扱説明書では各ボタンの操作を説明するために、図に記載した文字を使用しています。
- この取扱説明書に記載しているイラストは、視認性を考慮して実際のものとは異なる描写をしているものがあります。また、一部を除き、アナログ針を省略しています。ご了承ください。

液晶表示について

製品により液晶表示のタイプが異なります。

- 1つの製品でタイプを切り替えることはできません。

白地に黒



黒地に白



本書は「白地に黒」のタイプのイラストで説明します。

ご使用になる前に

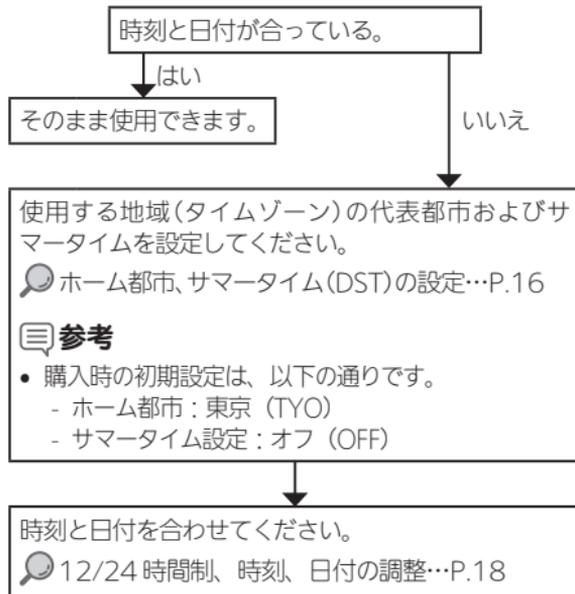
この時計をお使いになるには、「時刻と日付の設定」が必要です。

時刻と日付の表示を合わせたら、「モードの種類と切り替え」と操作したい機能の説明をお読みください。

 モードの種類と切り替え…P.12

時刻と日付の設定

時刻と日付の表示を確認して、チャートに従ってください。



✓重要

- この時計を主に日本以外の国で使用する場合は、使用するタイムゾーンを確認してホーム都市およびサマータイム（DST）を設定してください。

 UTC（協定世界時）とタイムゾーン…P.41

モードの種類と切り替え

この時計には、機能に応じた 6 種類のモードがあります。各モードの機能とモード切り替え方法は以下の通りです。また、各モードに共通している機能や操作は、以下を参照してください。

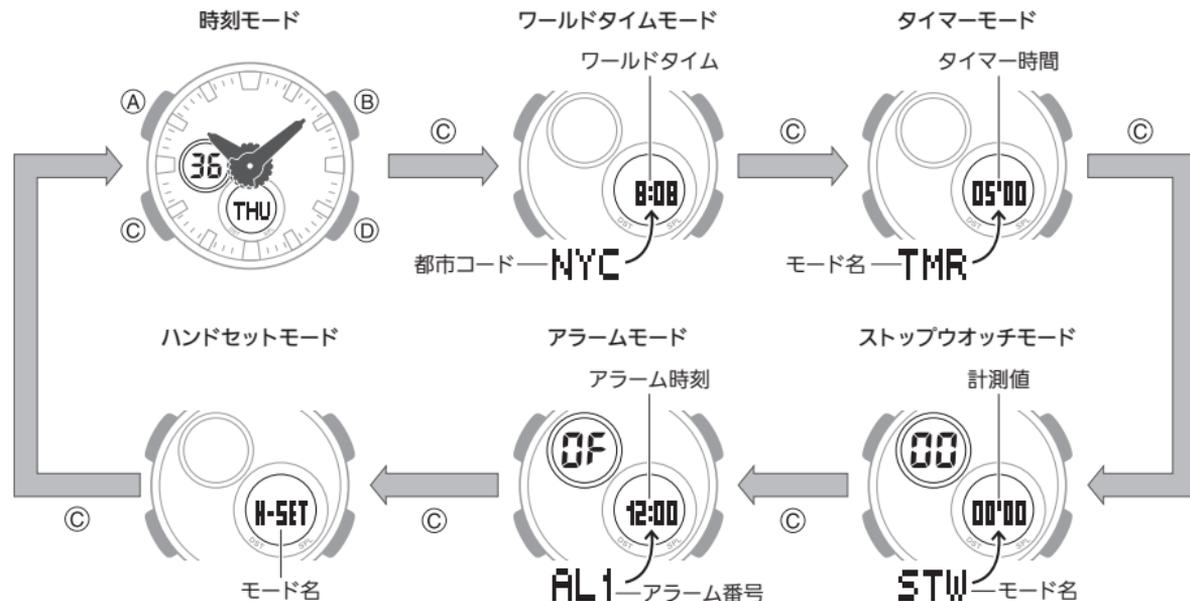
 共通機能…P.14

各モードでできること

モード	機能	参照ページ
時刻	<ul style="list-style-type: none">ホーム都市の時刻表示時刻、日付、サマータイムの設定12/24 時間制切り替え	P.15
ワールドタイム	世界 27 都市 (29 タイムゾーン) の時刻を表示	P.20
タイマー	<ul style="list-style-type: none">タイマーの設定、計測タイマー方法の設定予告音の設定	P.21
ストップウォッチ	<ul style="list-style-type: none">経過時間の計測スプリットタイムの計測	P.24
アラーム	<ul style="list-style-type: none">アラーム時刻の設定時報の ON/OFF 設定	P.25
ハンドセット	アナログ針の調整	P.28

モードの切り替え

◎ ボタンを押すごとに、以下のモードに切り替わります。



参考

- モードを切り替えるごとに音が鳴ります。時刻モードに戻るときは、高い音が鳴ります。

共通機能

以下の機能と操作は各モードに共通しています。

◆自動表示切り替え

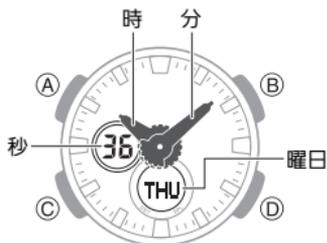
時刻などを設定しているとき（デジタル表示が点滅中）に何も操作せず 2～3 分間経過するとセット状態が解除されます。

◆早送り

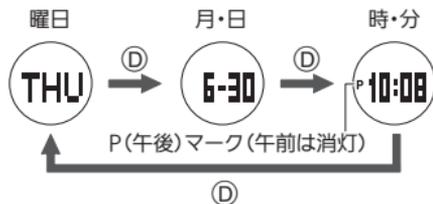
各モードで設定をするとき、**Ⓑ** および **Ⓓ** ボタンを押して設定内容を変更します。**Ⓑ** および **Ⓓ** ボタンを押し続けると、設定値を早送りできます。

時刻と日付

時刻モードでは、ホーム都市の時刻を知ることができます。デジタル表示は曜日・月日・時分を切り替えて表示できます。



表示切り替え



時刻を合わせる

電池交換後などで、時刻や日付が合っていないときは、デジタル表示で時刻や日付の調整を行います。

✓重要

- デジタル表示で時刻を調整したときは、必ずアナログ針の調整も行ってください。

🔍 アナログ針の調整…P.28

ホーム都市、サマータイム(DST)の設定

ホーム都市は、都市コード一覧表の27都市(29タイムゾーン)の中から、この時計を使用する場所と同じタイムゾーンの都市を選びます。また、使用する国や地域に応じてスタンダードタイムまたはサマータイム(DST)を設定します。ホーム都市が正しくないと、「ワールドタイム都市」の時刻を正しく表示しない原因になります。

 都市コード一覧表…P.42

✓重要

- この時計を日本で使用する場合は、ホーム都市を東京(TYO)に設定します。
- 都市コードを変えたときや、サマータイムの設定を変えたときは、必ずアナログ針の調整も行ってください。

🗨️参考

- サマータイムとは、DST (Daylight Saving Time) とも言い、通常の時刻(スタンダードタイム)から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの実施期間や実施地域は、国によって異なります。また、サマータイム制度を採用していない国や地域もあります。

◆ホーム都市を設定する

- 時刻モードのとき、**(A)** ボタンを2秒以上押し続けてセット状態に切り替えます。

秒が点滅します。



- (C)** ボタンを2回押して、都市コード設定状態に切り替えます。



③ ② または ④ ボタンを押して、都市コードを選択します。

- 設定したい都市コードを表示するまで、② または ④ ボタンを押します。
- ② または ④ ボタンを押し続けると早送りできます。

④ ① ボタンを押して、設定を終了します。

◆サマータイム(DST)の設定

① 時刻モードのとき、① ボタンを2秒以上押し続けてセット状態に切り替えます。

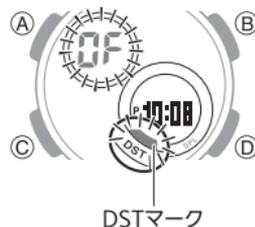
秒が点滅します。



② ③ ボタンを押して、サマータイム (DST) の設定状態に切り替えます。

③ ④ ボタンを押して、サマータイム (DST) の設定を選択します。

- DST マークが点滅します。
- ④ ボタンを押すごとに以下の設定が切り替わります。
 - [0F] スタンダードタイムを表示します。
 - [07] サマータイムを表示します。



④ ① ボタンを押して、設定を終了します。

12/24 時間制、時刻、日付の調整

時刻と日付を合わせます。

✓重要

- 時刻と日付を合わせる前に、必ずホーム都市を設定してください。

🔍 ホーム都市、サマータイム (DST) の設定…P.16

◆時刻と日付の合わせかた

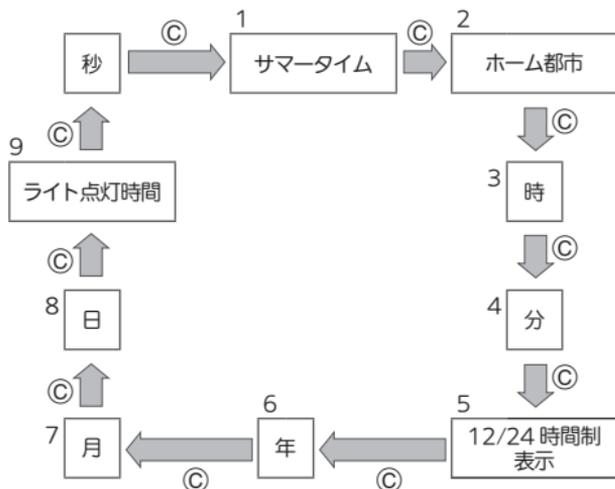
- 時刻モードのとき、**(A)** ボタンを約2秒間押し続けてセット状態に切り替えます。

- 時報に合わせて **(D)** ボタンを押します。

- 秒が「00 秒」からスタートします。
- 秒が 00 ~ 29 のときは切り捨てられ、30 ~ 59 のときは 1 分繰り上がって「00 秒」になります。

- (C)** ボタンを押して、設定する項目を選択します。

(C) ボタンを押すごとに以下の順序で設定項目が切り替わります。



☰参考

- 上図の数字は、**(C)** ボタンを押す回数を示します。
- どこが点滅している状態でも、**(A)** ボタンを押せばセット完了できます。

4 ③ または ④ ボタンを押して、以下の設定を変更します。

画面	変更項目	操作
36	秒を「00」にリセット • 30～59秒のときは 1分繰り上がります	④ ボタンを押す
0F	サマータイム / スタン ダードタイムの切り替え	④ ボタンを押す
TYO	都市コードの変更	③ または ④ ボタンを押す
P 10:00	「時」「分」の変更	③ または ④ ボタンを押す
12H	12時間制 (12H) と 24時間制 (24H) の切 り替え	④ ボタンを押す
2016 6-30	「年」「月」「日」の変更	③ または ④ ボタンを押す

5 ① ボタンを押して、設定を終了します。

参考

- 12時間制に設定したときは、正午から午後11:59まではP(午後)マークを表示します。24時間制の場合は、P(午後)マークを表示しません。
- 日付の設定は、異なる月の長さや、うるう年にも対応しています (フルオートカレンダー)。

ワールドタイム

ワールドタイムモードでは、世界 27 都市(29 タイムゾーン)の時刻を知ることができます。ワールドタイムモードで選択した都市を「ワールドタイム都市」といいます。

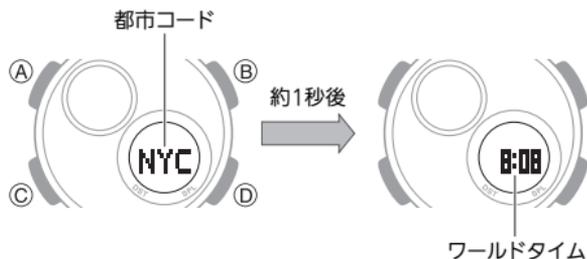
 都市コード一覧表…P.42

他のタイムゾーンの時刻を見る

① 時刻モードで © ボタンを押し、ワールドタイムモードに切り替えます。

② ① ボタンを押して、都市コードを選択します。

- 都市コードを 1 秒間表示した後、選択した都市の現在時刻を表示します。
- © ボタンを押し続けると早送りできます。

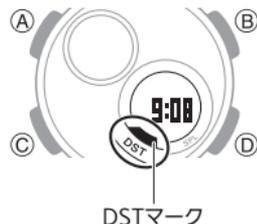


サマータイム (DST) の設定

① ワールドタイムモードで、© ボタンを押して都市コードを選択します。

② ① ボタンを約 2 秒間押し続けます。

- ① ボタンを約 2 秒間押し続けるごとにサマータイムの設定が切り替わります。
- 表示時刻がサマータイムのときは、DST マークが点灯します。



参考

- ワールドタイム都市に GMT を設定した場合、サマータイム設定の切り替えはできません。
- サマータイム設定は、選択しているタイムゾーンのみ適用します。他のタイムゾーンには影響しません。

タイマー

タイマーは分単位で60分までセットすることができ、1秒単位でカウントダウンを行います。また、タイムアップ後も自動で計測を継続させたり、タイムアップ前に予告音を鳴らすよう設定することができます。

設定の詳細

◆タイマー方法

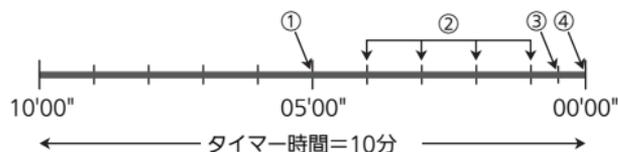
タイマー方法には次の2種類があり、使い方に合わせて選ぶことができます。

- リピートタイマー（繰り返し計測）
タイムアップするとタイマー時間を表示して、計測が止まります。
同じ時間を何回も計測する時に便利です。
- オートリピートタイマー（自動繰り返し計測）
タイムアップしても、計測ストップするまで自動的にタイマー時間に戻り、繰り返し計測を行います。
オートリピートは8回まで行います。

◆予告音

予告音をONに設定すれば、次のように音が鳴ります。

- ① 5分前：残り5分10秒から5分00秒まで1秒ごとに報音
- ② 4分前から1分前：1分ごとに報音
- ③ 30秒前：1秒報音
- ④ タイムアップ：残り10秒から1秒ごとに報音



☞参考

- 5分00秒前、および②③では、「ピピピピ」と短く4回鳴ります。

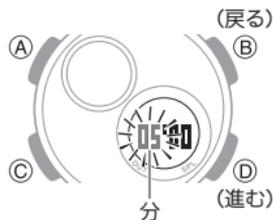
タイマーモードを選ぶ

- 時刻モードで **◎** ボタンを2回押すと、タイマーモードに切り替わります。

[TMR] を約1秒間表示します。

計測時間を設定する

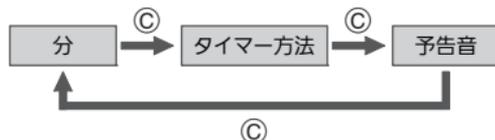
- ① ① ① ボタンをタイマーの「分」表示が点滅するまで（約2秒間）押し続けます。



- タイマー計測中の場合は、① ① ボタンを押して計測を停止してから ① ① ボタンを押して計測時間をリセットします。
- タイマー計測が一時停止している場合は、① ① ボタンを押して計測時間をリセットします。

- ② ① ① ボタンを押すごとに以下の順で選択が切り替わります。

選択している方が点滅表示します。



- ③ ① ① または ① ① ボタンを押して、「分」を設定します。

① ① または ① ① ボタンを押し続けると早送りできます。

- ④ ① ① ボタンを押すと、タイマー方法設定状態に切り替わります。

5 ④ ボタンを押して、タイマー方法を選択します。

- [→] を表示したらリピールタイマーが選択されます。
- [] を表示したらオートリピールタイマーが選択されます。



6 ③ ボタンを押すと、予告音の ON/OFF 設定状態に切り替わります。

7 ④ ボタンを押して、予告音の ON/OFF を選択します。

- [ON] を表示したら予告音がONに選択されます。
- [OFF] を表示したら予告音がOFFに選択されます。



8 ① ボタンを押して、設定を終了します。

計測する

● タイマー計測のボタン操作は、以下の通りです。



参考

- 他のモードに切り替えていても、タイムアップ音が鳴ります。

タイムアップ音を止める

- いずれかのボタンを押すとタイムアップ音が止まります。

ストップウォッチ

ストップウォッチは、1/100 秒単位で 59 分 59 秒 99 (60 分計) まで計測できます。計測範囲を超えた場合は、0 に戻って計測を続けます。



ストップウォッチモードを選ぶ

- 時刻モードで **(C)** ボタンを 3 回押すと、ストップウォッチモードに切り替わります。

[STW] を約 1 秒間表示します。

計測する

- ストップウォッチ計測のボタン操作は、以下の通りです。

- ・経過時間計測

(D) → **(D)** → **(A)**
スタート ストップ リセット

- ・スプリットタイム (途中経過時間) 計測

(D) → **(A)** → **(A)** → **(D)** → **(A)**
スタート スプリット スプリット解除 ストップ リセット

- ・1・2 着同時計測

(D) → **(A)** → **(D)** → **(A)** → **(A)**
スタート スプリット ストップ スプリット解除 リセット
1 着ゴール 2 着ゴール (2 着のタイム表示)
(1 着のタイム表示)

参考

- 計測中に他のモードに切り替えても、内部で計測を継続します。ただしストップウォッチモードに戻ったときは、スプリットタイム表示は解除されています。

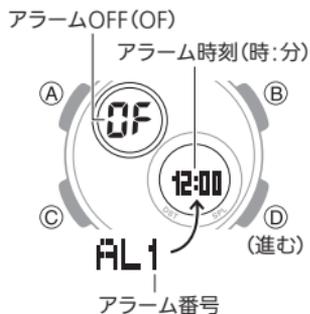
アラーム・時報

アラームは5つの時刻を設定できます。設定した時刻になるとアラーム音が20秒間鳴ります。スヌーズは、このアラーム音を5分おきに合計7回繰り返します。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

アラームモードを選ぶ

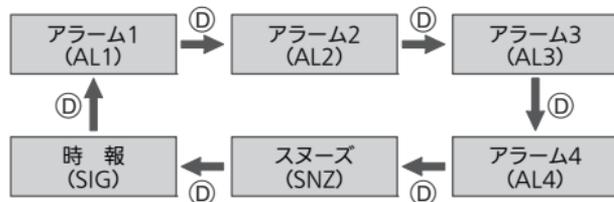
- 時刻モードで **Ⓒ** ボタンを4回押すと、アラームモードに切り替わります。

アラーム番号 ([AL1] ~ [AL4]、[SNZ]) または [SIG] を約1秒間表示します。



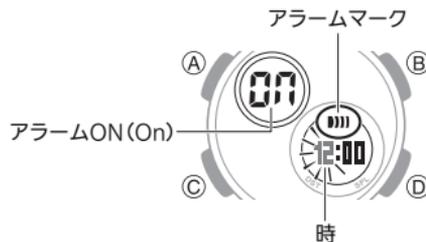
アラーム時刻を設定する

- 1 アラームモードで **Ⓓ** ボタンを押して、設定するアラーム番号を選択します。



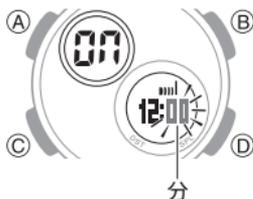
- 2 **Ⓐ** ボタンをアラーム時刻の「時」表示が点滅するまで (約2秒間) 押し続けます。

アラームマークが点灯し、アラーム設定がONになります。



- ③ ③ ボタンを押すごとに、「時」または「分」の選択が切り替わります。

選択している方が点滅表示します。



- ④ ③ または ④ ボタンを押して、「時」または「分」を設定します。

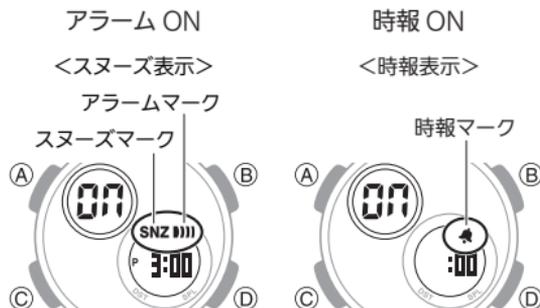
- ③ または ④ ボタンを押し続けると早送りできます。
- 12時間制で表示している場合、午後はP(午後)マークを表示します。

- ⑤ ③ ボタンを押して、設定を終了します。

アラーム・時報の ON/OFF

- ① アラームモードで ④ ボタンを押し、設定するアラーム番号または時報を選択します。
- ② ③ ボタンを押して、アラームまたは時報の ON/OFF を切り替えます。

アラームまたは時報を ON にすると、アラームマーク (スヌーズの場合はスヌーズマークも)、または時報マークが点灯します。



アラーム音を止める

- いずれかのボタンを押すとアラーム音が止まります。

参考

- スヌーズの場合、7回の繰り返しが終わるまで約5分ごとにアラーム音が鳴ります。
- スヌーズ中は、スヌーズマークが点滅しています。
- スヌーズ中に以下の操作をすると、スヌーズ機能が中断されます。
 - スヌーズを OFF に切り替えた
 - スヌーズをセット状態にした
 - 時刻モードのセット状態にした
 - ワールドタイムモードでホーム都市のサマータイム設定を変更した

アラーム音を確認する（モニターアラーム）

- アラームモードで ⑩ ボタンを押し続けると、押している間、アラーム音が鳴ります。

アナログ針の調整

アナログ針とデジタル表示の時刻が合っていないときは、以下の操作で合わせてください。

- ① 時計モードで、**Ⓒ ボタン**を5回押して**ハンドセットモード**にします。

[H-SET] と表示します。

- ② **Ⓐ ボタン**を約2秒以上押し続け、**セット状態**にします。

現在時刻が点滅して、セット状態になります。



- ③ **Ⓓ ボタン**を押して、**アナログ針を合わせます**。

Ⓓ ボタンを押すごとに時計回りに1/3分(20秒)ずつ進みますので、デジタル表示の「時・分」ちょうどにアナログ針を合わせます。

参考

- Ⓓ ボタンを押し続けて早送り中に**Ⓑ ボタン**を押すと、ボタンから手を離しても針が進み続けます。
- 自動早送りは時計が1回りするか、いずれかのボタンを押すと止まります。
- 針の早送り中にアラームなどが鳴り出すと針が停止します。

- ④ **Ⓐ ボタン**を押して、**設定を終了します**。

- 点滅が止まり、分針はそのときの「秒」に合わせて自動的に修正されます。
- セット状態で2～3分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。
- 操作のタイミングにより、針が少し遅れることがあります。このようなときは、もう一度セット状態にしてから針を1ステップか2ステップ進めてください。

ライト

暗いところで時計の表示を見るときに、ライトを点灯させて画面を明るくすることができます。

ボタンを押して点灯させる

● ② ボタンを押すと、ライトが点灯します。



参考

- ライト点灯中にアラーム音が鳴ると、消灯します。
- ライト点灯時間は約 1.5 秒間と約 3 秒間のいずれかを選ぶことができます。

◆ライト使用に関する注意事項

ライトを頻繁に使用するとバッテリーの持続時間が短くなります。

ライト点灯時間の切り替え

① 時刻モードで ① ボタンを約 2 秒間押し続け、セット状態に切り替えます。

秒が点滅します。

② ③ ボタンを 9 回押して、ライト点灯時間設定に切り替えます。

🔍 参照…P.18



③ ④ ボタンを押して、ライト点灯時間を [◇] (約 1.5 秒間) または [※] (約 3 秒間) に設定します。

④ ① ボタンを押して、ライト点灯時間設定を終了します。

故障かな?と思ったときは

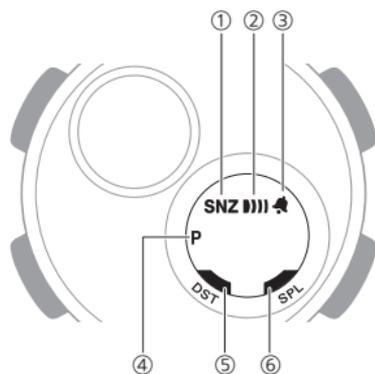
時刻設定

状況	原因と対処
現在時刻の表示が数時間ずれている	ホーム都市の設定が正しくありません。ホーム都市の設定を確認してください。  ホーム都市を設定する…P.16
現在時刻の表示が1時間ずれている	サマータイムに対応した時刻設定をする必要があります。  サマータイム(DST)の設定…P.17

ワールドタイムモード

状況	原因と対処
設定したワールドタイム都市の時刻がずれている	サマータイム設定(スタンダードタイム/サマータイム)が正しくありません。  サマータイム(DST)の設定…P.20

主な機能表示



番号	名称	参照ページ
①	スノーズマーク	P.26
②	アラームマーク	P.25
③	時報マーク	P.26
④	P (午後) マーク	P.15
⑤	DST マーク	P.20
⑥	スプリットマーク	P.24

製品仕様

- 水晶発信周波数 : 32,768Hz
精 度 : 平均月差±30秒
基本機能 : アナログ部
時・分(20秒ごとに針が動きます)
2針
デジタル部
時・分・秒、月・日・曜日、
午前/午後(P)/24時間制表示、
フルオートカレンダー(2000~
2039年)
- ワールドタイム : 世界27都市(29タイムゾーン)の時
機能 刻を表示、サマータイム設定機能
- タイマー機能 : セット単位 1分
計測範囲 60分
計測単位 1秒
リピートタイマー/オートリピート
タイマー切り替え、
予告音 ON/OFF 切り替え
- ストップウォッチ : 計測単位 1/100 秒
機能 計測範囲 59分 59秒 99(60分計)
計測機能 通常計測、積算計測、
スプリット計測、
1・2 着同時計測

- アラーム機能 : 時刻アラーム
アラーム数 5本(うち、スヌーズ1本)
セット単位 時・分
時報 毎正時に2回電子音で報知
- その他 : 自動復帰機能、12/24時間制表示切
り替え、LEDライト、ライト点灯時間
切り替え、モニターアラーム
- 使用電池 : SR726W 2個(電池別途販売)
- 電池寿命 : 約2年
(電子音 20 秒間/日、ライト
1.5 秒間/日使用した場合)

ご使用上の注意

■防水性

- 防水時計は時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

表示	時計の表面または裏ぶたに表記	日常生活用防水	日常生活用強化防水		
		「BAR」表記無し	5気圧防水	10気圧防水	20気圧防水
使用例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキューバダイビング(素潜り)	×	×	○	○

- 専門的な潜水=スキューバダイビング(空気ボンベ使用)でのご使用はお避けください。
- 時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも、以下のご使用はお避けください。
防水性能の低下や、ガラスの内側が曇る原因になります。
 - 「水中で」および「時計に水分がついた状態で」りゅうずやボタンを操作すること
 - 入浴のときに使用すること
 - 温水プールやサウナなどの高温多湿な環境で使用すること

- 時計を手につけたまま手洗い/洗顔/家事などをするとき、石鹸や洗剤を使うこと
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れを拭き取ってください。
- 防水性を保つために定期的(2~3年を目安)なパッキン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水検査を行いますので、必ず「修理サービス窓口」またはお買い上げの販売店にお申し付けください(特殊な工具を必要とします)。
- 防水時計の一部にデザイン上、皮革バンドを使用しているモデルがありますが、皮革バンド付の状態、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。
- 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。夏季に高温の室外から室内に入りエアコンの吹き出し口付近で冷気にさらされたり、冬季に暖かい室内から出て屋外の冷気や雪に触れた場合など、外気と時計内部の温度差が大きくなることによって曇る時間が長くなることがあります。
なお、曇りが消えなかったり、時計内部に水が残っている場合は、ただちにご使用をやめて、修理を「修理サービス窓口」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

ご使用上の注意

■バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドは、劣化やさびなどにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これらは、時計の落下や紛失、けがの原因となります。バンドは常にお手入れをして清潔な状態でご使用ください。
- バンドに弾力がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のピンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、ご使用をやめてください。点検・修理（有償）や新しいバンドとの交換を、「修理サービス窓口」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

■温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
- +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や+40℃以上では、表示が見えにくくなる場合があります。

■ショック

- 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/Baby-G/G-ms）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■磁気

- アナログ時計やコンビネーション（アナログとデジタル）時計は、針を動かすために磁石の性質を利用したモーターを駆動させる方式を採用していますが、このモーターは強い磁気（オーディオ機器のスピーカー、磁気ネックレス、携帯電話など）を発生する器具に近づけるとモーターの回転に影響を受け、針の「遅れ・進み・止まり・誤った時刻表示」などの原因となります。

■静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
- 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分にじみ現象が発生することがあります。

■薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■樹脂部品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂部品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくとき色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取って、乾かしてください。
- スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。

- ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

■皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が皮革バンドに移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに柔らかい布などで軽く拭いて、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
ご注意：皮革バンドは、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■金属部品について

- 金属は、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さびが発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などでよく拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、よく乾燥させてください。
- ときどき、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。

■抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果을上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性の良い柔らかい布で拭き取り、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■液晶表示について

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなる場合があります。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

時計も衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ・汗・水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。
- 金属バンドおよび樹脂バンドの金属部品は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。
- 樹脂バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- 皮革バンドは、水や汗がついた場合には、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- りゅうずやボタンや回転ベゼルは、長期間操作しないと動きが悪くなる場合があります。ときどき、りゅうずや回転ベゼルの回したり、ボタンを押ししたりしてください。

■お手入れを怠ると

〈さび〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
 - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- さびが発生すると、金属部分に鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、ご使用をやめて、修理（有償）を「修理サービス窓口」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮革バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

- 電池交換は必ず「修理サービス窓口」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行います。
- 樹脂（外装）部品は日々のご使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。電池交換ご依頼品の樹脂部分にひびなどの異常がある場合、破損の恐れがありますので作業を行わずにご返却する旨のご案内をさせていただくことがございます。あらかじめご了承ください。

■最初の電池

- お買い上げの時計に組み込まれている電池（モニター用電池）は、工場出荷時点で時計の機能や性能をチェックするために組み込まれたものです。
- お客様がお買い上げになるまでの期間に電池は消耗しますので、モニター用電池は取扱説明書などに記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

■電池の消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンド（フリータイプの中留構造バンド※を除く）の駒詰めには専用の工具が必要となります。

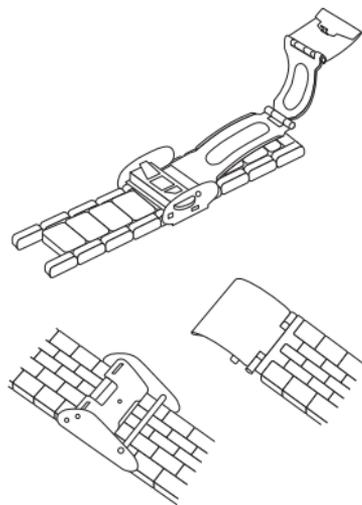
お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはけが等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。

なお、「持込修理サービス受付窓口」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。

詳しくは、「持込修理サービス受付窓口」または「修理に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

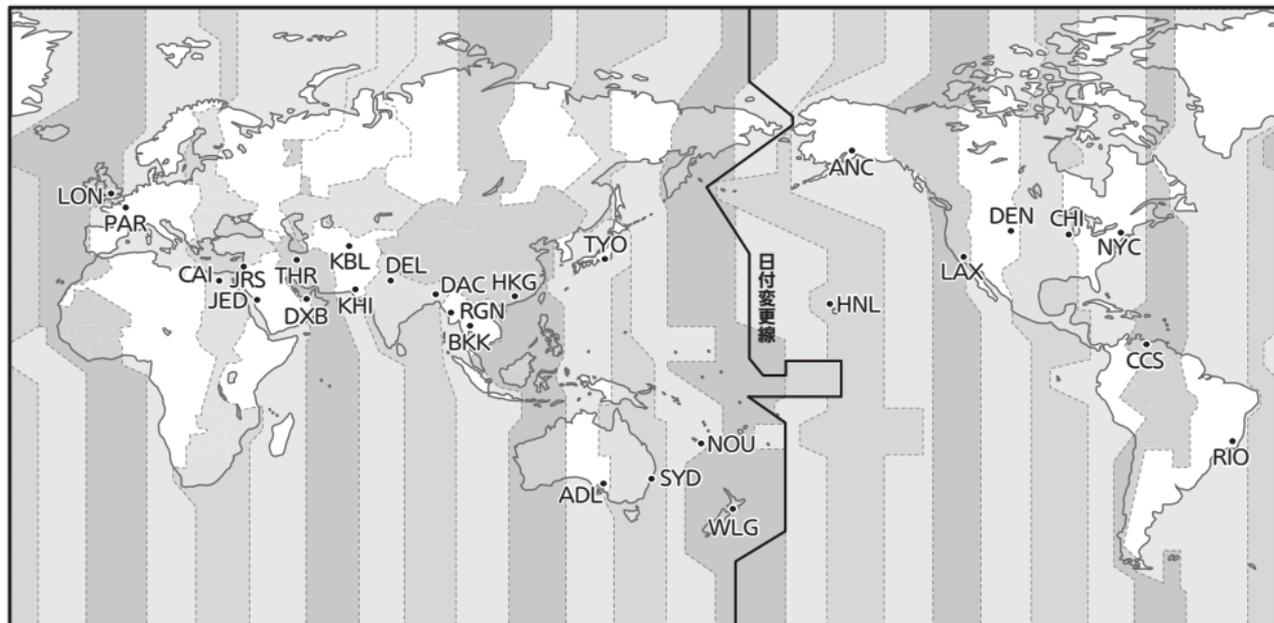
※中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

（例）



UTC（協定世界時）とタイムゾーン

地図から目的地のタイムゾーンをご確認ください。



JST(日本標準時)との時差

-11 -10 -9 -8 -7 -6 -5 -4 -3 -2 -1 0 1 2 3 -20 -19 -18 -17 -16 -15 -14 -13 -12 -11

UTC(協定世界時)との時差

-2 -1 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 -11 -10 -9 -8 -7 -6 -5 -4 -3 -2

都市コード一覧表

コード		タイムゾーン	都市名
GMT		0	協定世界時 (UTC)
LONDON	LON	0	ロンドン
PARIS	PAR	+ 1	パリ
CAIRO	CAI	+ 2	カイロ
JERUSALEM	JRS	+ 2	エルサレム
JEDDAH	JED	+ 3	ジェッダ
TEHRAN	THR	+ 3.5	テヘラン
DUBAI	DXB	+ 4	ドバイ
KABUL	KBL	+ 4.5	カブール
KARACHI	KHI	+ 5	カラチ
DELHI	DEL	+ 5.5	デリー
DHAKA	DAC	+ 6	ダッカ
YANGON	RGN	+ 6.5	ヤンゴン
BANGKOK	BKK	+ 7	バンコク
HONG KONG	HKG	+ 8	香港
TOKYO	TYO	+ 9	東京
ADELAIDE	ADL	+ 9.5	アデレード
SYDNEY	SYD	+ 10	シドニー
NOUMEA	NOU	+ 11	ヌーメア
WELLINGTON	WLG	+ 12	ウェリントン

コード		タイムゾーン	都市名
	---	- 11	
HONOLULU	HNL	- 10	ホノルル
ANCHORAGE	ANC	- 9	アンカレッジ
LOS ANGELES	LAX	- 8	ロサンゼルス
DENVER	DEN	- 7	デンバー
CHICAGO	CHI	- 6	シカゴ
NEW YORK	NYC	- 5	ニューヨーク
CARACAS	CCS*	- 4	カラカス
RIO DE JANEIRO	RIO	- 3	リオデジャネイロ
	---	- 2	
	---	- 1	

* 2014年12月現在、カラカスの時差は「- 4.5」に変更されていますが本機では対応していません。「時差- 4の地域」としてご使用ください。

☰ 参考

- この表は、本機の都市コードの一覧(2014年12月作成)です。
- 設定する都市コードがわからないときは、使用場所の時差を確認し、時差が一致する都市コードを選択してください。
- 時差は協定世界時(UTC)を基準にしています。